

## 令和4年度 公民「政治・経済」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 1・2・3・5・6・7・8組
教科書	高等学校現代政治・経済新訂版 (清水書院)	副教材等	最新政治・経済資料集 2022 (第一学習社)

### 1 学習の到達目標

<p>広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深める。          現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解する。          上記事項に関する諸課題について主体的に考察し公正な判断力を養い、良識ある公民の能力と態度を育てる。</p>
--

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の 基本原理	1,政治とはなにか 2,法とはなにか 3,近代民主政治の発展 4,現代民主政治の展開 5, 政治制度と現代の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法は社会規範の一つであり、国家による強制を伴う点で道徳や慣習とは異なることを理解する。</li> <li>・法は個人や集団の権利を擁護すると共に社会の秩序を維持する機能を有していることを理解する。</li> <li>・世界の政治体制と比較することで民主政治の本質を理解する。</li> </ul>	ワークシート分析  小テスト  行動観察
		1,日本国憲法制定までの道のり 2,日本国憲法の基本的性格 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法は基本的人権の尊重、国民主権を基本原則とする点で国民国家の枠を超えた普遍性を持っていることを理解する。</li> <li>・日本国憲法は民主政治の諸原理と深い関係があることを理解する。</li> </ul>	ノート点検  定期考査成績
6	第3章 日本国憲法と 平和主義  第4章 日本国憲法と 人権保障	1,平和主義思想の系譜 2,日本の防衛政策と自衛隊 3,日本の安全保障政策と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和と安全の確保が、人類の福祉を実現する上で欠くことのできないものであることに気付く。</li> <li>・日本国憲法の平和主義を理解した上で、日本の安全保障と防衛について理解を深める。</li> <li>・日本国憲法が保障している基本的人権の確立の歴史的背景、経緯、政治制度との関連について考察する。</li> </ul>	ワークシート分析  小テスト  行動観察
		1,人権保障の基本原則 2,自由権的基本権 3,法の下での平等 4,社会権的基本権 5,参政権と請求権 6,新しい人権 (21 世紀的基本権) 7,人権をめぐる新たなうごき 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解する。</li> <li>・自由権的基本権について、議会制や権力分立制との関連を理解する。</li> <li>・平等権について、社会における不合理な差別を完全になくすことに主体的に取り組むような積極的な態度を身につけさせる。</li> <li>・参政権について、国民の政治参加のための制度との関連を理解する。</li> <li>・社会権的基本権について、近代から現代にかけての政府の機能の変化の過程で登場してきたものであることを理解する。</li> <li>・教育、労働、福祉に関わる社会制度の整備と社会権的基本権の関連を理解する。</li> </ul>	ノート点検  定期考査成績
9	第5章 日本の政治 機構  第6章 現代の日本 政治	1,国会のしくみと機能 2,内閣のしくみと機能 3,裁判所のしくみと機能 4, 地方自治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治機構については、中学校社会科公民的分野の学習の基礎の上に立って概観する。</li> <li>・国民主権、議会制民主主義、権力分立、議院内閣制、違憲審査制の概念や政治理論を習得する。</li> <li>・地方自治は住民自らの意思と責任の下で行われるもので、民主政治の基盤をなすものであることを理解する。</li> </ul>	ワークシート分析  小テスト
		1, 行政機能の拡大 2, 政党政治 3, 選挙制度 4, 現代民主政治の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の政治参加が政策決定及ぼす影響や主権者としての政治参加の在り方について考察する。</li> <li>・民主主義は多数者の意思に基づく政治を基本とするが、少数者の権利や意見の尊重が必要であることに気付く。</li> </ul>	行動観察
10	第7章 国際政治と 日本	1,国際社会と国際法 2, 国際連合と地域統合 3, 国際政治の動向 4,核兵器と軍備管理・軍備縮小 5, 国際社会における日本 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際法の基本的なしくみについて理解する。</li> <li>・国際連合をはじめとした国際機構の意義や役割を理解する。あわせて、NGOや多国籍企業が国際政治に影響を与えていることも理解する。</li> <li>・国際政治の動向として、冷戦後の動向について理解する。</li> <li>・日本の安全保障と防衛について理解を深める。</li> </ul>	ノート点検  定期考査成績

11	第2編 現代の経済 第1章 現代の経済	1.経済活動の基本概念 2.経済主体と国民所得・国富 3.経済成長と景気変動 4.市場経済にいたる経済体制の変容 5.市場経済の機能と限界 6.企業の役割 7.物価の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>家計、企業、政府が現代の経済における主要な経済主体であり、これら経済主体間の相互関係が国民経済を構成していることを理解する。</li> <li>分業と交換に基づき、生産や消費について、どのような社会でも経済的選択の問題を解決しなければならないことを理解する。</li> <li>企業は、提供された生産要素を結合して生産活動を行うことを理解する。</li> <li>市場の競争性が維持されている場合でも公共財の提供がされにくいことや環境破壊など市場の失敗があることを理解する。</li> </ul>	ワークシート分析  小テスト
	第2章 金融と財政のしくみ	1.金融のしくみとはたらき 2.財政のしくみとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融とは経済主体間の資金の融通であることを理解する。</li> <li>金融業務の自由化や金利の自由化に伴う金融に関する経済環境の変化による国民経済や家計や企業に向けての影響について理解する。</li> <li>現代経済における有効需要政策の意味と役割及びその問題点について理解する。</li> </ul>	行動観察
12	第3章 日本経済のあゆみと現状	1.日本経済の変化 2.中小企業の現状と問題 3.環境をめぐる問題 4.消費者をめぐる問題 5.農業をめぐる問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業にはベンチャー企業のように経済的に大きな役割を果たしているものがある一方で、下請けとして大企業との間に是正すべき格差社会が存在しているということを理解する。</li> <li>消費者についての問題としては、情報の非対称性の観点から家計・企業・政府間の情報格差について理解する。</li> <li>農業問題としては、日本の食料自給率が他の先進国とくらべて低く、日本の農業の体質強化が課題とされていることを理解する。</li> </ul>	ノート点検
	第4章 労働と社会保障	1.労働基本権と労働運動 2.今日の雇用問題と労働条件 3.社会保障の成立と進展 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の労使関係の特色や、勤労の権利と義務、労働基本権の保障、労働条件の改善、労働組合の役割について理解する。</li> <li>医療や年金といった社会保障費の財政負担が大きな問題となっていることを日本の社会保障制度の歩みや特色も含めながら理解する。</li> </ul>	定期考査成績
1	第5章 世界経済と日本	1.国際分業と貿易の利益 2.外国為替と国際収支のしくみ 3.グローバル化の進展と国際経済 4.アジア経済と南北問題 5.国際経済における日本の役割 6.環境と人口 地球の持続可能性をめぐる問題 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較優位の考え方について理解させ、自由貿易論と保護貿易論とを対比させながら、現代の貿易問題と関連させて理解する。</li> <li>対外経済取引に伴い通貨間の売買が必要になることを理解する。その際、自国通貨と外国通貨の需給関係から為替レートが決まる変動相場制が採用されており、財やサービス、資本の出入りや物価水準、金利差など様々な要因が相場に影響を与えていることを理解する。</li> <li>国際収支統計の基本的な構成と、日本の対外経済取引の現状について理解する。</li> <li>世界貿易機関や国際通貨基金といった国際経済機関が果たす役割や課題について理解する。</li> <li>国際経済の安定のために日本が果たすべき役割にはどのようなものがあるのかを考察する。</li> </ul>	ワークシート分析  行動観察  ノート点検  定期考査成績

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。
思考・判断・表現	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。
資料活用の技能	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
知識・理解	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

「政治・経済」という科目は私たちを取り巻く複雑な社会を理解し、自分自身の在り方を主体的に考えるための科目です。授業では基礎的な知識を学ぶとともに、現代の社会が抱えている諸課題について勉強します。新聞やニュースなどを普段から見るように努め、様々な問題について自分自身で考え、自分自身の在り方・生き方について見つめなおす機会にしてほしいと思います。
--